

附 則

(適用時期)

第一条 この告示は、平成三十一年三月三十一日から適用する。

(経過措置)

第二条 この告示の規定による改正後の労働金庫法施行規則第百十四条第一項第五号二等の規定に基づき、自己資本の充実の状況等について金融庁長官及び厚生労働大臣が別に定める事項（以下「新開示告示」という。）第二条第四項（新開示告示第四条第一項において準用する場合を除く。）の規定は、この告示の適用の日（以下「適用日」という。）以後に終了する事業年度に係る説明書類の作成について適用し、適用日前に終了した事業年度に係る説明書類の作成については、なお従前の例による。

2 新開示告示第三条第四項（新開示告示第四条第二項において準用する場合を除く。）の規定は、適用日以後に終了する連結会計年度（連結財務諸表の作成に係る期間をいう。以下同じ。）に係る説明書類の作成について適用し、適用日前に終了した連結会計年度に係る説明書類の作成については、なお従前の例による。

3 新開示告示第四条第一項において準用する新開示告示第二条第四項の規定及び新開示告示第四条第二項において準用する新開示告示第三条第四項の規定は、適用日以後に終了する半期（四月から九月までの半期をいう。以下同じ。）に係る説明書類の作成について適用し、適用日前に終了した半期に係る説明書類の作成については、なお従前の例による。